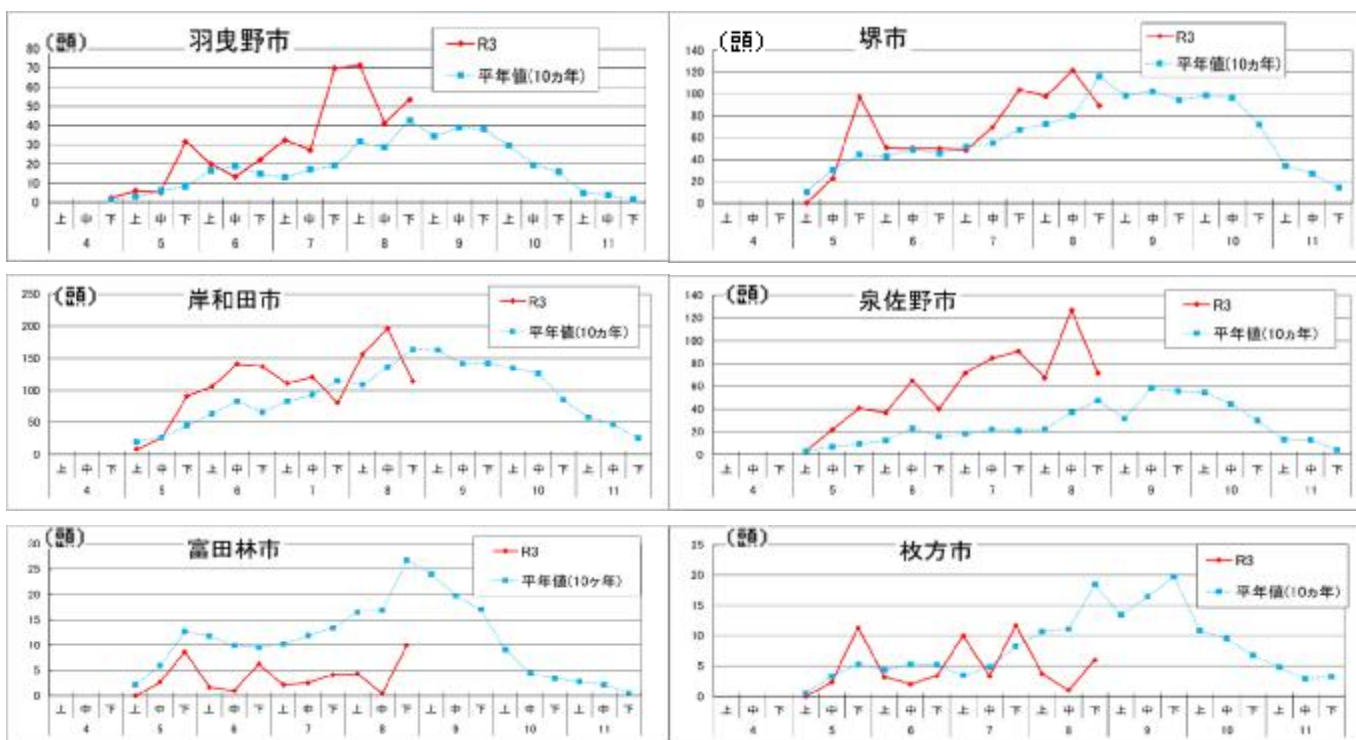


シロイチモジヨトウに注意！

1 発生と今後の予想

- フェロモントラップへの誘殺虫数が、平年と比較してやや多く推移している。
- 今後1か月の気温は、平年に比べ高い確率が50%と予想されており、多発傾向が続く可能性が高い。

■フェロモントラップへの誘殺虫数



2 シロイチモジヨトウについて

- ねぎ類、花き類、豆類、なす科野菜、あぶらな科野菜など広範囲の作物を加害する。
- 卵は数十～100個程度が1塊となっており、白色の毛におおわれる(図1)。
- 卵からかえた幼虫は、しばらく集団で葉を食害し、成長すると分散して単独で加害する(図2)。
- 老齢幼虫は体長約30mm。体色は、若齢幼虫は淡緑色。中齢以降になると淡緑色、緑褐色、暗褐色と変異に富む。



図1 シロイチモジヨトウ卵塊



図2 ねぎを加害する幼虫

※(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所提供

3 防除方法

- (1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。
ねぎでは、幼虫が葉身内に食入している場合があるので、注意して観察する。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに薬剤を施用する。
薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避ける（散布薬剤例：表1～5）。

表1 ねぎ

薬剤名	系統（IRAC）	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ディアナSC	スピノシン系 （5）	2,500～ 5,000 倍	収穫前日まで	2回以内
コテツフロアブル	ピロール系 （13）	2,000 倍	収穫7日前まで	2回以内
ベネビアOD	ジアミド系 （28）	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
グレーシア乳剤	メタジアミド・ イソオキサゾリン系 （30）	2,000～ 3,000 倍	収穫7日前まで	2回以内

表2 たまねぎ

薬剤名	系統（IRAC）	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ディアナSC	スピノシン系 （5）	2,500～ 5,000 倍	収穫前日まで	2回以内
ベネビアOD	ジアミド系 （28）	2,000 倍	収穫14 日前まで	3回以内
プレオフロアブル	－	1,000 倍	収穫3 日前まで	2回以内

表3 キャベツ

薬剤名	系統（IRAC）	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
コテツフロアブル	ピロール系 （13）	2,000 倍	収穫前日まで	2回以内
プレオフロアブル	－	1,000 倍	収穫7 日前まで	2 回以内

表4 野菜類

薬剤名	系統（IRAC）	適用作物名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ゼンターリ顆粒水和剤	BT （11A）	野菜類 （はくさいを除く）	1,000 倍	発生初期 但し 収穫前日まで	－
デルフィン顆粒水和剤	BT （11A）	野菜類	1,000 倍	発生初期 但し 収穫前日まで	－

表5 花き類・観葉植物

薬剤名	系統（IRAC）	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
コテツフロアブル	ピロール系 （13）	ヨトウムシ類	2,000 倍	発生初期	2回以内
ノーモルト乳剤	ベンゾイル尿素系 （IGR 脱皮阻害） （15）	ヨトウムシ類	2,000 倍	発生初期	2回以内
ロムダンフロアブル	シアシルヒドラジン系 （IGR脱皮促進）（18）	シロイチモジヨトウ	1,000 倍	発生初期	5回以内

●Web 版大阪府病虫害防除指針（<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>）

●農林水産省（<https://pesticide.maff.go.jp/>）